



2014年12月期

第6期 株主通信

(2014年1月1日から2014年12月31日まで)



『街のカーウンセラー』を通じ、
自動車アフターマーケット業界の活性化に貢献、
新たな市場を創造してまいります。

代表取締役社長
大山 堅司

売上高・営業利益ともに過去最高を更新

2014年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和などにより、景気は緩やかな回復基調で推移し、当社顧客が属する自動車アフターマーケット業界も堅調に推移しました。

当社は、2014年1月よりスタートした3カ年の中期経営計画において、「豊かなカーライフを支援する総合サービス業への進化」を経営方針に掲げ、産業プラットフォーム上で顧客事業を支援するITサービスの拡大に取り組んだ結果、中期経営計画初年度である2014年度の経営成績は、売上高188億94百万円(前期比4.8%増)、営業利益41億65百万円(同11.4%増)、経常利益40億98百万円(同12.2%増)、当期純利益21億93百万円(同14.6%増)となりました。

中期経営計画の実現に向けて

2014年度は、従来の業種特化型アプリケーションの販売を通じた業務支援に加え、中期経営計画実現に向け

た重点施策の一つである『街のカーウンセラー』のサービスブランドの浸透に努めました。お客様である自動車整備事業者等の魅力を訴求するためのマーケティング支援を推進した結果、『街のカーウンセラー』は、1号店のオープンからわずか7ヶ月で100店舗を突破し、2014年度末時点での認定店舗数は140店舗に達するなど、着々と自動車アフターマーケットにおける存在感を高めております。

また、もう一つの重点施策として、新たなサービス基盤となる『新世代BLクラウド』の開発を進め、新規サービスの創出に必要なIT基盤を構築いたしました。長年蓄積してきた事業者間取引履歴や、カーオーナーの車輛・購買履歴などビッグデータ活用に加え、今後はカーライフにおいて日々更新される位置情報、走行情報などを取り込んでいくことで、豊かなカーライフの実現に向けた新サービス展開を目指していきます。

2015年度も、中期経営計画に基づいた重点施策を引き続き推進し、多様化するカーオーナーのニーズに対応する顧客視点に立った戦略を迅速に実行してまいります。



財務ハイライト(実績・予想)

2015年度も増収増益を実現し、年間配当を5円増配予定

2015年度の売上高は196億円(前期比3.7%増)、営業利益46億円(同10.4%増)、経常利益45億500万円(同11.0%増)、当期純利益25億300万円(同15.4%増)を予想しています。また、2015年度の1株当たり年間配当は、5円増配の25円(中間12.5円、期末12.5円)を予想しております。

売上高

18,894百万円
(2014年度)

■ システム販売
■ システムサポート
■ ネットワークサービス



営業利益／営業利益率

営業利益
4,165百万円
営業利益率
22.0%
(2014年度)

■ 営業利益 ● 営業利益率



当期純利益／EPS

当期純利益
2,193百万円
EPS
84.03円
(2014年度)

■ 当期純利益 ● EPS



配当／配当性向

年間配当
20.0円
配当性向
23.8%
(2014年度)

■ 配当(期末) ■ 配当(中間) ● 配当性向



総資産／純資産

総資産
28,343百万円
純資産
21,294百万円
(2014年度末)

■ 純資産 ■ 総資産



自己資本／自己資本比率

自己資本
21,264百万円
自己資本比率
75.0%
(2014年度末)

■ 自己資本 ● 自己資本比率





事業モデル

～豊かなカーライフを支援する「総合サービス業」

自動車アフターマーケット産業の価値最大化の実現のため、
当社はカーオーナー、整備工場、部品商をつなぐ循環サイクル型の成長戦略を推進します。

BL産業プラットフォーム※1上の 新たなサービス開発基盤『新世代BLクラウド』が稼動開始

当社のお客様間の取引履歴や、カーオーナーの車輦・購買履歴などをビッグデータとして蓄積し、それらデータを活用した新たなサービスを開発してまいります。第一弾として、カーオーナーのスマートフォンにお得な情報やクーポンを配信するサービス「カーウンセラーパス」をスタートしました。



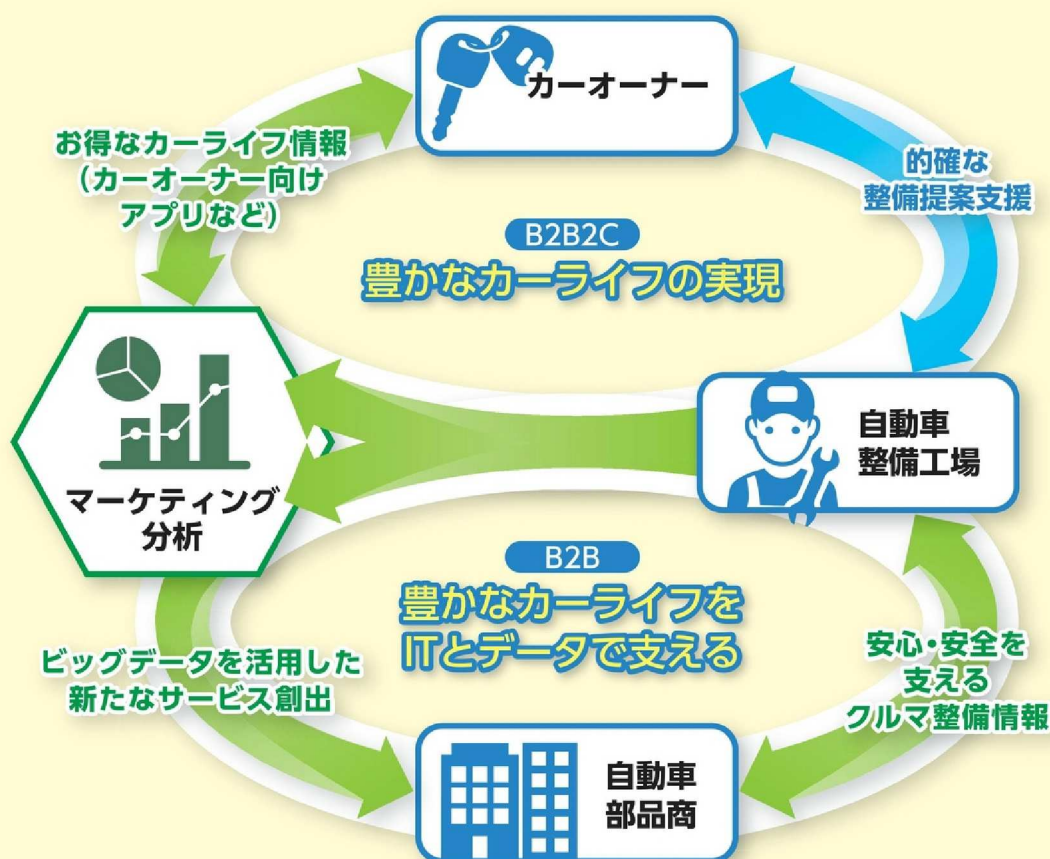
※1:整備業者などの小売業者、補修部品を取り扱う部品商社、リサイクル部品業者の各業種において共有できる情報基盤を指します。
当社は、各社間の複合業務全体を効率化する、この共有・統合ネットワークシステムを提供しています。
※2:お客様が業務で必要不可欠な部品情報(車輦、自動車部品、装備品、指数情報など)と、それに紐づく業界共通の部品コード(BLコード)を独自に体系化する技術を指します。

への進化を目指します～

重点 施策

- 新世代BLクラウド開発
- 街のカーウンセラー推進

巨大な自動車アフターマーケットを統合し、
新領域の拡大による成長戦略の実現を目指す



海外展開について

当社は中国・ASEANを中心としたアジア市場への展開を目指しています。

自動車販売台数の増加や環境問題への高まりは、同地域における整備・修理需要増加とリサイクル部品市場の拡大に寄与すると予測されており、事業拡大へ大きなチャンスがあります。



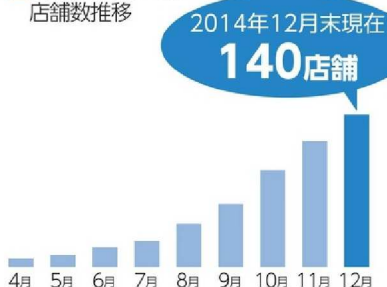
豊かなカーライフの実現を目指し、 進化した自動車整備工場『街のカーウンセラー』を推進

『街のカーウンセラー』は、自動車整備工場の「スタッフ」と「お店」を支援する、これまでにない新しいプログラムです。カーオーナーの満足度を向上させ、次回以降のご来店につなげることで、自動車整備工場の収益機会の拡大をお手伝いします。



1号店OPENから7ヶ月で 認定店舗は100店舗を突破！

■街のカーウンセラー
店舗数推移



クルマのことなら、『街のカーウンセラー』にご相談ください。詳細は、街のカーウンセラーホームページでご覧いただけます。

<http://www.carunselor.jp/>



ブロードリーフ

店舗運営サポートのための様々なサービス・機能を開発・提供

プロモーションによる
集客支援

スーパーバイザーによる
店舗支援

研修やITソリューションによる
教育支援

ビッグデータを活用した
サービス創出



CSR・環境保全活動

ブロードリーフの事業は、クルマの安全性や地球環境への負荷など、社会に大きな影響を与える自動車産業に、深く関わっています。当社では、社会の持続的発展に取り組むことを重要な経営課題と位置づけており、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えするCSR活動、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

環境保全活動

「Grow Leafプロジェクト」を推進

「Grow Leaf(グローリーフ)プロジェクト」による、森林再生が必要な土地への植林活動、地域に密着した清掃活動、絵本による環境教育の促進等の活動を展開しています。

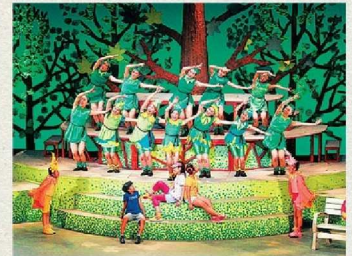
植林活動では、NPO法人環境リレーションズ研究所の運営する「プレゼントツリー」を通じて、3万本を目標とした植林活動を推進しています。植えられた樹木は長期にわたって保育管理され、やがて森となって未来の地球へと受け継がれていきます。



「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」ミュージカル公演に協賛

初演から15年目となった2014年も、東京・大阪で公演を実施し、多くの感動と拍手を巻き起こしました。

今後も、子供たちの演じる“環境”と“いのち”をテーマとしたミュージカルを通じて、その尊さを後世に伝え続けていきたいと考えています。



産業育成活動

事業構想大学院大学の事業承継研究プロジェクトの 客員教授に当社社長の大山堅司が就任



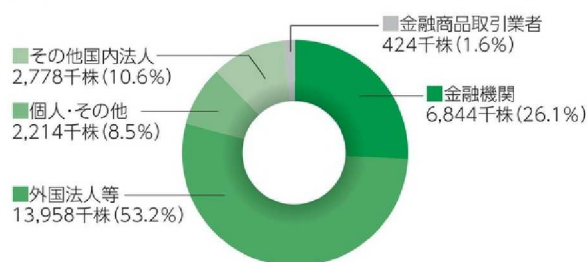
同大学において「中堅・中小企業事業継承者養成特別プログラム」を担当します。

このプログラムでは、事業承継のために必要な事業構想やマーケティングマネジメントなど多岐にわたるテーマで課題解決を示唆し、自動車アフターマーケット業界の活性化と次世代を担う人材育成に寄与することを目指します。

会社概要 (2014年12月末現在)

名 称	株式会社ブロードリーフ
創 業	2005年12月
設 立	2009年9月
上 場	2013年3月 東京証券取引所第一部(コード:3673)
資本金	7,147百万円
役 員	代表取締役社長 大 山 堅 司 取締役副社長 山 中 健 一 取締役(社外) 鬼 澤 盛 夫 取締役(社外) 平 野 正 雄 取締役(社外) 渡 邊 喜一郎 常勤監査役 青 木 伸 也 常勤監査役(社外) 加 来 英 彦 監査役(社外) 石 井 友 二
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
TEL	03-5781-3100(代表)

所有者別株式分布状況



株式の状況 (2014年12月末現在)

発行可能株式数	80,000,000株
発行済株式総数	26,221,700株
株主数	2,769名

株主メモ

証券コード	3673
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
定時株主総会の 基準日	12月31日
剰余金配当の基準日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同連絡先・ 郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
各種事務手続き	詳しくは、ホームページにてご確認ください。 http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/



株式会社ブロードリーフ

〒140-0002

東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F

<http://www.broadleaf.co.jp/>



この冊子は、適切に管理された森林で生産された木材を原料に含む「FSC®認証紙」および、印刷用インキに含まれる石油系溶剤の一部を植物油に替えた「植物油インキ」を使用し、印刷工程において水を全く使用しない「水なし印刷」で印刷しています。